

## カラカス日本人学校が創立40周年を迎えるにあたって

第14代校長 駒田 泰久

カラカス日本人学校全日制は、昭和50年（1975年）11月1日にカラカス市東部のバージェ・フレスコの地で開校しました。全校児童生徒37名でのスタートでした。全日制と書いたのは、遡ること7年、昭和43年7月29日にカラカス日本語補習学校が開校し、その流れの中で全日制が開校し、日本語補習校は補習科として土曜日だけの学校としてその歴史を刻んでいくのです。（今も、補習科の歴史のバトンは、日本語教室と名を変え、脈々と続いています。）

カラカス日本人学校開校式の様子を書き記した貴重な文章が残っています。「昭和50年11月1日、輝くばかりの青空の下、待望久しかったカラカス日本人学校開校式が挙行された。参加者約200名。どの顔も晴々しく、喜々としていた。設立準備に奔走してきた人の中には、涙をそっとぬぐう顔も見られた。臨時校長・杉原真一大使、橋本貞夫教頭以下10名の教員と、児童生徒37名による出発である。」（創立10周年記念誌アピラより）

バージェ・フレスコ、カステジャーナと家主の意向により引越しを余儀なくされてきた日本人学校がついに落ち着いた安住の地が、現在のアティージョです。アティージョに新校舎が出来て、約33年の月日が流れています。今はすっかりアティージョの地に根付き、小規模校ながらも楽しく、充実した学校生活を児童生徒はもちろん、保護者、教職員が送っています。また、多くの邦人や日系人会の方々にも長く愛され、その絆の中心に学校が位置づいています。

平成27年（2015年）11月1日に創立40周年を迎えるにあたり、今までカラカス日本人学校で学び、教え、遊び、参加し、愛した皆様にぜひ、さまざまな事業に参加して下さいますようお願い申し上げます。特に「創立40周年記念誌」への原稿募集、創立40周年記念運動会、創立40周年記念学習発表会・記念式典への参加を訴えます。

創立40周年おめでとう！カラカス日本人学校があったから、私たちは出会い、共に楽しく過ごすことができたのです。

創立40周年ありがとう！そんなカラカス日本人学校に心からの感謝を言います。

創立40周年ご苦労様！カラカス日本人学校に関わってこられた全ての方々の労を労います。（2014年12月1日記す）